

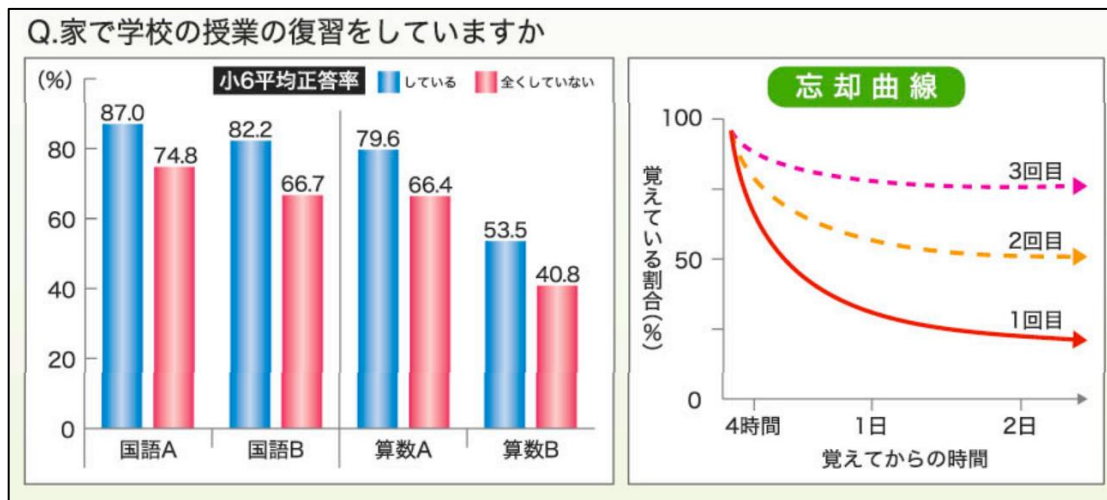


新年度が始まり2週間が過ぎようとしています。一つ学年が上がり、「今年もがんばるぞ」と気持ちを新たにしている子も多いことでしょう。

今年度も、学校経営方針のもと、「わかる・できる・楽しい授業」を展開し、ご家庭と協力して子どもたちの学力向上に努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

家庭学習（復習・予習）の大切さ

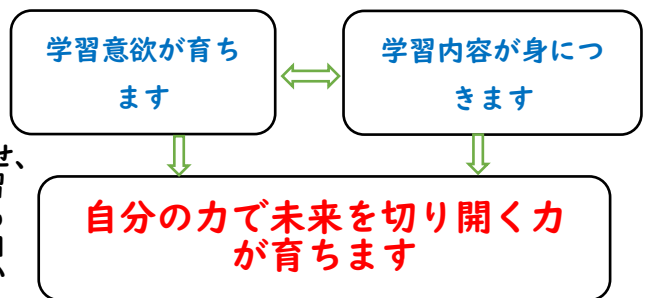
◎これまでの「全国学力・学習状況調査」の結果より、**家で復習している子どもは、平均正答率が高い傾向にあること**が分かっています。



(H24 栃木県教育委員会 「家庭学習のすすめ」保護者用リーフレットより)

◎家庭学習をする習慣が身につくと…

現在の学校教育では、「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」「自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」の育成を目指しています。そのため授業では、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させ、それらをいかして思考したり判断したり表現したりする学習活動ができる授業を実践しています。それらの力を確実なものとし、子どもたちの学習習慣が確立するために家庭学習(自主学習)を進めています。学校と家庭で協調して実施していきたいと思ひます。ご理解ご協力をお願いします。



◎それぞれの学年に応じて、サポート（見守り）をお願いします。

1・2年生 「親子共同学習」の時期

「宿題（家庭学習）は、子どもが一人でやるもの」ではありません。おうちの方が「学ぶ環境」を整えてあげたり、分からない問題を教えてあげたり、答え合わせをしたりして、家庭学習を最大限にサポートしてあげましょう。

3・4年生 「自主性を少しずつのばす」時期

与えられた課題だけでなく、より深く学ぶために、自主的な学習も積極的に取り組ませましょう。また、得意な分野と苦手な分野が少しずつ見えてくる時期です。やる気を低下させないよう、よさをほめて自信をもたせましょう。

5・6年生 「自主学習の基礎をつくる」時期

高学年の学習は、自分で計画を立て、それを実行できるようになることが大きな目標になります。基本的に保護者の方がそばにいる必要はありません。見守っているという気持ちを伝えましょう。しかし、子どもの発達状況は一人一人違います。保護者の方が必要と感じたときには、そばで見守ってください。